

○五国SSH連携プログラム データサイエンスコンテスト 決勝進出！

なにかと話題にあげさせてもらっていますが、科学プログラム「五国SSH連携プログラム」を実施しています。今回、姫路西高校が企画した「データサイエンスコンテスト」というプログラムにGS科1年生8名が参加しました。

台湾、オーストラリア、日本の高校生2名ずつ、計6名でチームをつくり、7月から協働して活動してきました。ネット上のさまざまなデータを分析し、旅行者のニーズに応えた日本国内の旅行プランを作成し、英語でプレゼンテーションをするという取り組みです。決勝は神戸市西区にある兵庫県立大学社会情報科学部を会場にして行われました。

決勝のプレゼンテーション後、張り詰めた雰囲気の中で結果発表がありました…3位と5位に入賞しました。テレビ会議を通し、海外の高校生とも協働して活動してきたこれまでの努力が最高の形で報われました。今後もたくさんのことに挑戦して「引き出し」を増やしてもらうことを期待しています。おめでとうございます！



○「数学・理科甲子園2022」に出場しました！

甲南大学・岡本キャンパスで行われた「数学・理科甲子園2022」に本校を代表してGS科2年生6名が出場しました。兵庫県内55校のチームが一堂に会し、数学・理科分野の問題について個人戦および団体戦で行われる予選に臨みました。まずは、予選で上位13校に入り本選進出を目指します。本校チームは予選（筆記）を2位で通過し、本選進出を果たしました！

本選（実技）は数学分野の問題でしたが、解答に至る過程が複数あり、いかにはやく最適な過程に気づき、チーム内で協働できるかが重要になります。残念ながら決勝進出の4校には選ばれず、本選後に決勝（実技）で出題されていた理科分野の問題をみて、とても悔しそうでした。

予選（筆記）で2位という結果だったことや最後まで諦めずに競技に取り組んだ彼らの健闘を称えたいと思います。



☆参加者大募集！！京都大学 講演会「核科学」

12月16日（金）13：30～ @本校第2セミナー室

1時間半程度です。参加希望者は…参加申込書に必要事項を記入し、点線に沿って切り取り、12月14日（水）までに、GS科門井先生の机上へ提出。京都大学の先生とお話しませんか？

誰でも参加自由です♪
興味のある方はぜひ！

-----キリトリ-----

参加申込書

令和4年 月 日

12月16日（金）13：30～の講義に参加します。 年 組 番 氏名（ ）

○五国SSH連携プログラム 参加者募集！

「物理トレーニングセンター兵庫（物理トレセン兵庫）」

第1回	12月10日（土）	9：50～15：00	実験など	@兵庫県立神戸高等学校
第2回	12月12日（月）	15：50～17：50	特別講義	@オンライン
第3回	12月13日（火）	15：50～17：50	特別講義	@オンライン

「物理トレーニングセンター兵庫（物理トレセン兵庫）」は、来年度、実施予定の**全国物理コンテスト物理チャレンジ2023**に参加することを想定した内容となっています。高校物理の基礎的な内容を自学自習し、他校の高校生と物理に関する話題に触れることで、物理に対する興味・関心を高めませんか？参加希望者は11月24日（木）8:30 までにGS科の先生に伝えてください。

はやぶさ2と三田の星空～探査機で探る太陽系の謎～（兵庫県立三田祥雲館高等学校 主催）



JAXAでははやぶさ2のプロジェクトに関わっておられた岩田隆浩先生にご講演いただきます。また、関西学院大学理学部宇宙・物理学科の大学院生の研究発表等も加え、天文学と人間生活との関係などを学びます。シンポジウム終了後は、さんだ天文クラブの協力で観望会を開催し、天体望遠鏡で星空観察を行います。

12月17日（土） 15：00～19：00 @兵庫県立三田祥雲館高等学校

申込：12月8日（木）までにURL（https://docs.google.com/forms/d/1_xAaHYzquXwV0uoHyeKsWxMWUb0Vo134Jmp3HZerOAO/edit）もしくは右記のQRコードから各自で申し込み、

GS科の先生にその旨を伝えること。



申込みフォーム↑

科学と世界のおもしろ～い人たちのクイズ選手権2022冬～三田祥雲館高校編～



高校生の冬にしかできないことに価値がある。2022年冬に世界のおもしろ～い人達のことを知る。発想力、行動力が…！？京都大学アイセムス 特定准教授の樋口雅一氏にご講演いただきます。

12月19日（月） 10：45～12：35（前半） 13：20～15：10（後半） @兵庫県立三田祥雲館高等学校

申込：12月8日（木）までにGS科の先生にその旨を伝えること。

SSH事業の案内です。

第37回国際生物学賞記念シンポジウム「人類の誕生と地球の未来」

12月18日（日） 13：00～17：50 @東京大学安田講堂
（インターネット配信あり）

国際生物学賞は、昭和天皇の御在位60年と長年にわたる生物学の御研究を記念するとともに、本賞の発展に寄与されている上皇陛下の長年にわたる魚類分類学（ハゼ類）の御研究を併せて記念し、生物学の奨励を図ることを目的とした賞です。

* 詳細・事前登録については、<https://sites.google.com/g.ecc.u-tokyo.ac.jp/37ipb-symposium/> をご覧ください（事前申込は不要ですが、インターネット配信希望の場合は事前登録が必要です）。

第38回国際生物学賞記念シンポジウム「魚の生物学 その生態、進化と発生」

12月18日（日） 9：00～17：00 @岡崎コンファレンスセンター
（オンライン同時開催）

今年の国際生物学賞は「魚の生物学（Biology of Fishes）」分野から塚本勝巳博士（東京大学名誉教授）が選ばれました。塚本勝巳博士は、古来より人々の興味をかき立ててきた「動物の旅」に関心を抱き、特に海と川を行き来する「通し回遊魚」に関する研究を展開しました。塚本博士の最も偉大な功績は、海洋生物学に残された最大級の謎であったニホンウナギの産卵場の発見です。今回、塚本博士の受賞を記念して、シンポジウムを開催します。

* 詳細・事前申込については、<https://www.nibb.ac.jp/ipbsympo38/> をご覧ください。